

「思い出遠足」

5歳児の子どもたちが楽しみにしていた『思い出遠足』当日は、朝から雪が降っていました。車窓から見える美しい雪景色が、みんなのワクワクした気持ちを盛り上げてくれました。

わあ！雪いっぱいだ。
あ！雪こ.
うれしいな。
通ったことある。

市内の児童センターでは、思い思いの遊具で、じっくりとあそびを楽しんだ子どもたち。

エッ！
入った！
自転車みたい！
次、ぼくね。
ままごといっぱい！
鬼ごっこしよう！

保育所に戻ると、いつもの給食は、『お子さまランチ』風に盛りつけられていました。

わあ！かわいい！
おかわりしよう！
おいしいぞう！
いいにおい！

午後から、職員による、手作りの手あみグッズや折り紙、おもちゃ、くじびきコーナーなどが並ぶ『お店屋さん』が開店。うれしいサプライズに笑顔の輪が広がりました。

これであそぶの楽しみ！
うん！
楽しかった！

周りの人の温かさに触れた喜びが、子どもたちの表情から伝わってきました。

「ジョウズ！」

玄関を行ったり来たりしているのは、1歳児のDちゃんでした。

Dちゃん、どうしたの？
先生もお友だちもお外で待ってるよ。早く行こうよ。

言葉をかけても、Dちゃんは外へ出ようとはせず、行ったり来たりを繰り返すばかりです。

みんな、もうあそびに行っちゃおうよ。先生もくつはいて行こうかな？

ところが、保育士がくつをはいた途端、Dちゃんは満面の笑顔になりました。

テンテ(先生) ジョウズ！ ジョウズ！
パチパチ！

えうだたんた。
Dちゃん、先生がくつをはくのを待っていてくれたんやね。ありがとう！ちゃんとはけたよ。
ウン。

くつをはけたことを喜び合おうとするDちゃんの思いが『うれしいーコマ』でした。